

インターバンクの声（2015年7月27日）

2日前には米中古住宅販売件数が8年ぶりの高水準となったことで、米国の利上げに対する期待感が高まったばかりだが、金曜日は一転して新築住宅販売件数が予想を大幅に下回る結果となった。確実に改善が進んでいる雇用に加え、住宅関連指標の改善傾向も顕著になってくれば、9月はともかく年内の利上げ観測がますます高まる流れにあったはずだ。中古住宅販売の規模に比べると新築住宅販売が6分の1程度だと言っても、先月の数字や今月の予想された数字から極端に弱い数字となったのは気掛かりだ。この日は、アジア時間から各国の経済指標に低調な結果が目立ち、中国の製造業 PMI に始まって、欧州時間でもドイツ、フランス、そしてユーロ圏製造業・非製造業 PMI が軒並み市場予想を下回った。週央から下落傾向にあった原油価格もさらに値下がりした。3年間の金融支援が決まったばかりのギリシャだが、何故か国際通貨基金（IMF）に追加金融支援の要請もあったらしい。連邦公開市場委員会（FOMC）前に確認出来る注目される企業決算は、ファイザーくらいだろう。本当はエクソン・モービルやフェイスブックなどの決算も確認したいところだが、FOMC には間に合わないはずだ。29日の FOMC で利上げ開始の宣言がないと、雇用統計の発表などはあるものの9月の FOMC まで一カ月半ほどの夏休み相場になってしまうかも知れない。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。